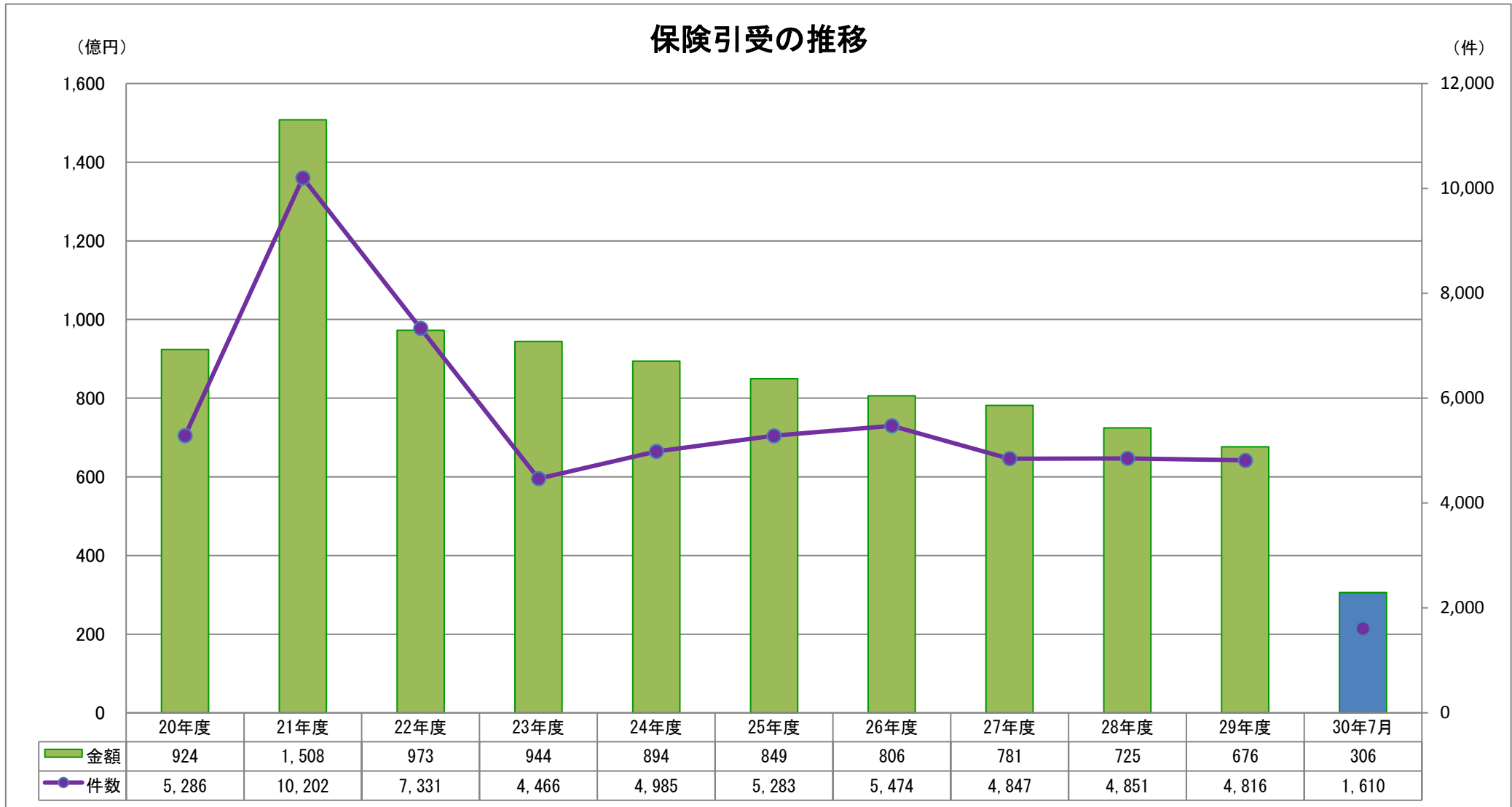


平成29年度保険事業実績の概要 (漁業信用保険業務)

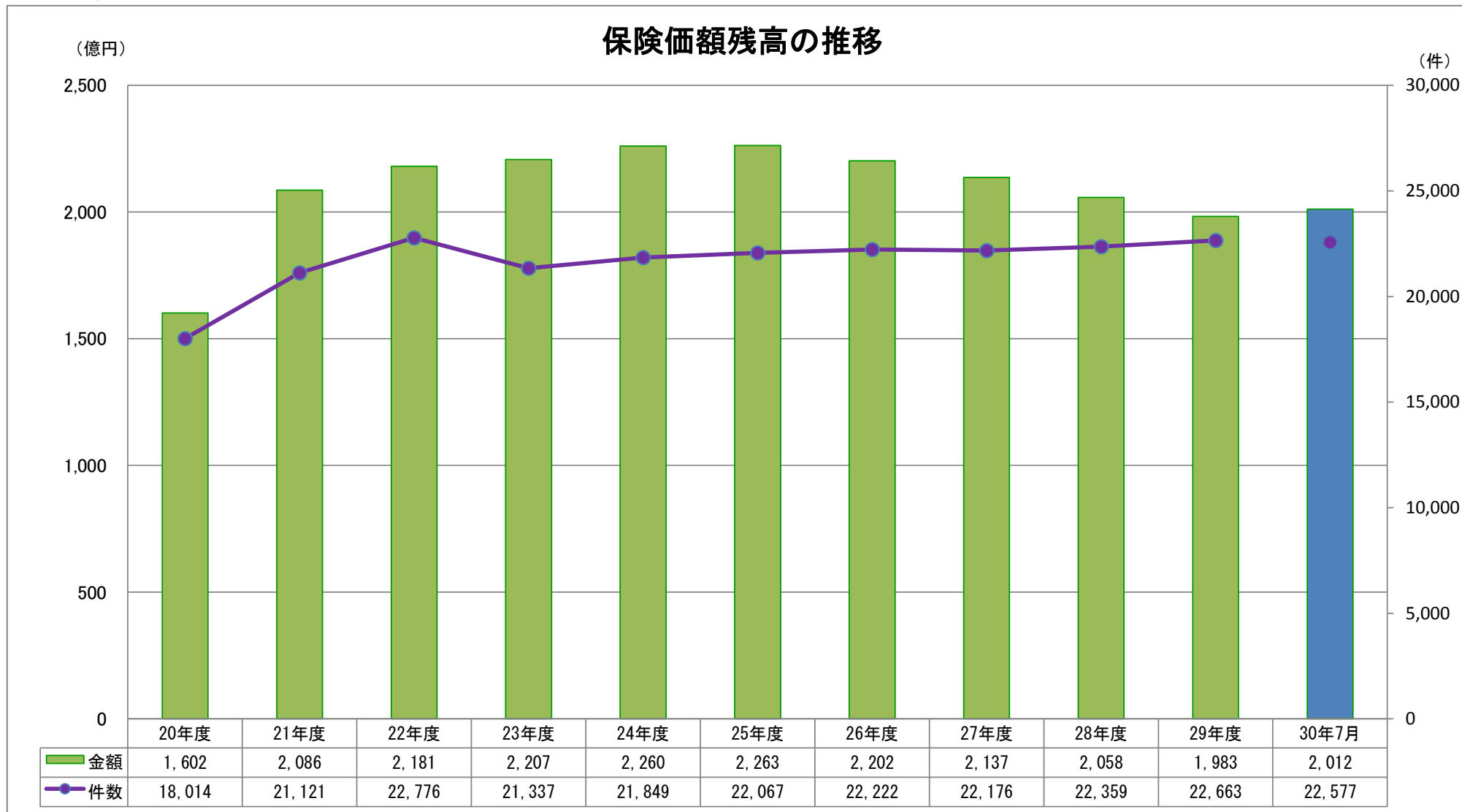
平成30年10月 3 日

独立行政法人農林漁業信用基金



(注) 件数及び金額は、各年度の年間の実績である。「30年7月」は、30年4月から7月までの実績である。

29年度の保険引受は、4,816件・676億円であり、前年度に比べ、件数で35件(0.7%)、金額で48億円(6.7%)減少した。
 漁船リース事業は70億円(前年度比58億円増)となったが、組合事業が64億円(前年度比10億円減)、水産加工業が41億円(前年度比10億円減)となった。
 なお、30年7月末現在の保険引受は、前年同期比8.3%増の306億円である。



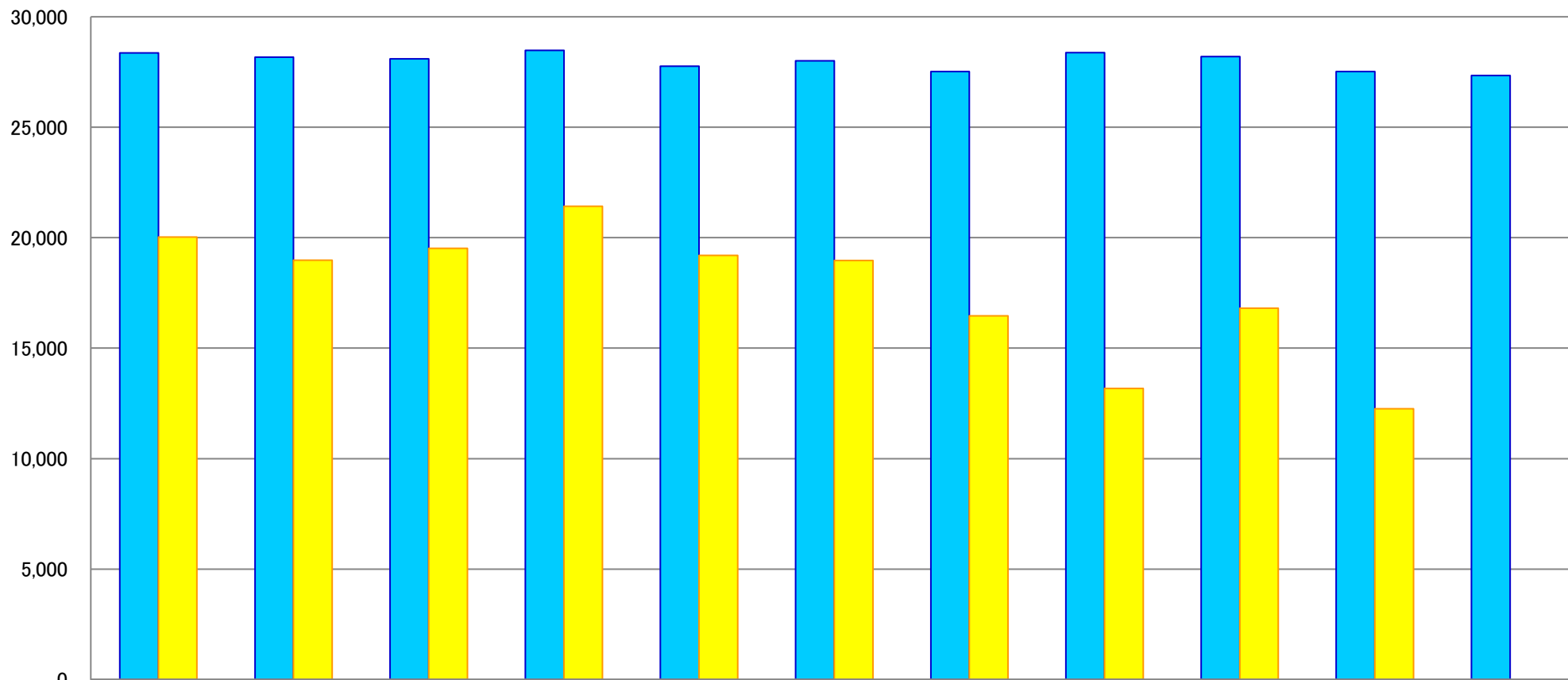
(注) 件数及び金額は、各年度末の実績である。「30年7月」は、30年7月末現在の実績である。

29年度末の保険価額残高は、22,663件・1,983億円であり、前年度に比べ、件数で304件（1.4%）増加、金額で75億円（3.6%）減少した。

保険価額残高は平成25年度の2,263億円をピークに減少傾向にある。これは、平成21年度に漁業緊急保証対策事業により保険引受額が増加したが、その後保険引受額が減少に転じたこと及び償還が進んだことによるものである。

基金協会に対する貸付けの推移

(百万円)



	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年7月
貸付残高	28,364	28,176	28,096	28,485	27,766	28,009	27,518	28,380	28,205	27,521	27,347
貸付額	20,031	18,985	19,516	21,422	19,203	18,969	16,462	13,175	16,804	12,255	-

(注) 1. 貸付額は、各年度の年間の実績である。「30年7月」は、30年4月から7月までの実績である。
 2. 貸付残高は、各年度末の実績である。「30年7月」は、30年7月末現在の実績である。

29年度の漁業信用基金協会に対する代位弁済財源等の貸付けは122億55百万円である。このうち、長期資金が117億22百万円、短期資金が5億33百万円である。

〔なお、25年度までは、長期資金の貸付期間が1年間と2年間のものがあつたが、26年度から長期資金の貸付期間を2年間に一本化することとしたため、26年度以降の貸付額が減少した。〕